

No. 23

1992

9月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
下井武平
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

踊りで「ワイド賞」、王将夫婦駒で
「グッドアイデア賞」受賞の2区



第六回 萩の里祭
八月二日盛会に
一〇〇〇人の輪がひろがる

踊りで「ハーモニック賞」
片恋酒で「ユーモア賞」に輝く1区



踊りで「演技賞」、君は心の妻だからで
「ピッタリ賞」に輝く6区



踊りで「和やかムード賞」
思い出の九十九里浜で「ハッスル賞」の4区



踊りで「もりあがったで賞」
今夜は離さないで「チアリング賞」の3区



踊りで「そろったで賞」
私たちどうするの「ロマンチック賞」の5区



今年は今地区に青年会誕生
お楽しみコーナーを受け持つ

II プログラム II

- ◎第一部 六時半から、全
員による納涼盆踊り大会
- ◎第二部 七時十分から、
高森音頭の各区発表会。
- ◎第三部 七時四十分から、
子供花火大会。
- ◎第四部 八時十分から、
カラオケ大会(各区代表)
デュエット・仮装歓迎。
- ◎第五部 九時から、全員
による納涼盆踊り大会。
- ◎各区の青年部 六時から
お楽しみコーナー開店。

区の情勢について

区長 下井 武平

裁判について、第二次裁判の東京高裁が第一回四月二十七日、第二回六月八日に、又第三回が八月二十四日に開廷され何れも西沢弁護士が出庭、特に第三回は現場の写真を示して説明を致しました。

出砂原のお祭り広場が完成、去る八月十日には自治大臣が来町、上段道路と共に視察されました。

区諸規約の改正

副区長 富田 隆仁

昭和五十八年に区の規程集が、当時の皆様の熟慮の末、作成されました。総務委員会から代議委員会へと性格が明確になりました。その後、一部手直しが行なわれて来ましたが、本年に入り、いくつかの重要な点を審議会に計り、変更しました。

(イ) 区民の義務等に関する要項について、これは、今迄行なわれて来た、区費、又は山作業に関する賦課金、出不足金に対する要項で、特に免除、

ますが、この計画に漏れると五ヶ年間事業実施が困難になりますので、充分検討し立案される様お願いします。

下市田中段(三区、四区、五区)の土地改良事業については、各関係者が研究委員を選出され、委員の皆様が中心となって研究を始めました。

将来に禍根を残さぬ様充分検討し、実行される事を望みます。

く制定されました。

(イ) 河川道路改良維持等に関する補助金について

若干修正されました。又、道路改良基金規定は廃止されました。

(ニ) 消防団々員在職年令に該当する方々への公益負担としての義務金について消防器具維持に関する補助等の規定の中へ、第五条義務金として制定されました。

平成4年度 萩山神社 歳入歳出予算書

自 平成4年3月1日
至 平成5年2月28日

歳 入		
項目	科 目	本年度予算
①	神饌幣帛料	3,500 ^円
②	財産収入	23,000
③	社 入 金	2,330,000
④	寄 附 金	0
⑤	繰 越 金	515,577
⑥	雑 収 入	10,000
經常部合計		2,882,077

歳 出		
項目	科 目	本年度予算
①	祭 典 費	395,000 ^円
②	神符守札調整費	350,000
③	給 与	884,000
④	社 務 費	420,000
⑤	管 理 費	270,000
⑥	負担寄附金	230,000
⑦	積 立 金	0
⑧	予 備 費	133,077
⑨	浦安の舞経費	200,000
經常部合計		2,882,077

平成4年度 下市田区一般会計歳入歳出予算書

平成4年3月28日 議決

(単位 千円)

【1. 収入の部】

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1. 区 費	13,150	12,200	950	個人法人区費
2. 繰 入 金	8,000	9,000	△ 1,000	地域振興基金 利息
3. 町 支 出 金	4,000	3,000	1,000	各種事業補助金
4. 財 産 収 入	1,500	1,000	500	貸地料 その他
5. 寄 付 金	2,000	1,500	500	各種事業地元負担金 その他
6. 消 防 義 務 金	1,090	1,200	△ 110	消防義務金
7. 諸 収 入 金	1,000	1,000	0	預貯金利息 山作業出不足金 その他
8. 前 期 繰 越 金	9,700	9,500	200	前年度繰越金
合 計	40,440	38,400	2,040	

【2. 支出の部】

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1. 総 務 費	11,249	11,008	241	別 紙
2. 厚 生 費	722	597	125	同
3. 林 務 費	1,606	1,566	40	同
4. 土 木 費	8,900	3,900	5,000	同
5. 水 利 費	3,710	2,560	1,150	同
6. 消 防 費	2,525	2,465	60	同
7. 公 民 館 費	2,881	2,881	0	別途会計
8. 公民館建設基金	5,000	5,000	0	基金積み立て
9. 予 備 費	3,847	8,423	△ 4,576	
合 計	40,440	38,400	2,040	

地元出身町議との懇談会報告

— 教養部 —

下市田区と公民館主催による「地元出身町議と語る会」は、去る六月二十七日午後七時半より下市田公民館二階大会議室に於て開催されました。

当日は上沼芳計、坂牧俊彦、原昭夫、新井衛、小宮山佳子各議員の御出席を頂き、区より区三役、公民館

三役、代議員の皆様、区民約百名が出席し、下市田公民館長、区長の挨拶のあと、各議員より町議活動報告をしていただきました。

上沼総務文教委員より、町の決算は二回の補正で四十九億円。税収の伸びについても話されました。旧学校問題については貴重な財



懇談会の様子

産であり下市田区の意向を大切にし、町より方向を出してもらったの報告。坂牧産業委員からは、農林水産費は三億一千万円、町の予算の六・六％。地域おこしとして柿のシンポジウムで柿苗の交換、ふるさと宅配事業、下市田区有林に関して、森林浴、予防費を重点に。又土地問

題、大型店対策についての報告。原建設委員からは、町予算の四三％、二十億円が建設予算で十二億円が上段道路に当てられ、平成四年終了予定。柿とカヌーの町整備事業。日通前にお祭り広場、朝霧道路完成。羽根線道路については、平成四年度橋掛けと墓地の移転が予定。明神橋の掛け替えについては、建設省より話はないとの報告。小宮山社会委員からは、民生費(社会、児童福祉)は、町の予算の九・九％で四億六千八百万円。町の高齢化率は一八・五％で九十三名がひとり暮らし、六十二名が寝たきり老人である。老人福祉として、ベット六十五基、車イス二十五台の借出し。介護手当は年十二万円支給。やすらぎ荘については、ディサービス利用五千八百人、年平均十九回。結婚式五回。保育園は保母四週八休制で、現在下市田保育園児は八十九名。学童保育は登録制度で、保険加入とおやつ代が必要、現在十名が利用で指導員一名が置かれている。コミュニティ推進補助として法被作り。国民健康保険は、二万五千九百二十五円(一九・三％)の引き下

げとの報告。最後に新井社会委員より、環境水道課予算三億七千万円で、七・三％。現在使われている牛牧の廃棄物処理場が満杯となり、山吹垣外地区に新しく建設予定。又、下水道事業は特別会計を設置し、増野地区が予定され、四、五年位かかるとの報告。各議員からの情勢報告のあと引き続き懇談会に入りました。

Q 高森は、他地区にくらべ非行が多いと聞か、又、学校五日制について区での取り組みは。

A 現状を把握できないが学校などと連絡をとり合いたい。五日制については、各方面と話し合い取り組む予定。

Q 不動産の売店は、あの場所に必要か。

A 地域指定の場所である。

Q 山の神の林道はあの広さの中が必要なのか。又、開発するのか。

A 人が寄りやすく、森林浴道として利用。

Q 上段道路に予算の四分の一を使っているが投資効果はあるのか。

A 松川インターから飯田インターに通れば利用度はある。

その他、高寿館が取り壊され行き場がないのでなんとかしてほしい。不動産周辺の木を切り過ぎて景観が損われたなど、区民より会が終了しました。

下市田スポーツ大会

鎌倉孝三



ワン・ツウ・スリー そーれ!

過日六月十四日に行なわれました下市田区主催のスポーツ大会に、各部落役員選手の方々、又応援にかけつけていただきました区民一人一人のご理解とご協力をいただき、無事平成四年度下市田区スポーツ大会(卓球、グラントゴルフ、ミニソフトバレーボール)が終了しました。この各大会は次の通りです。

〈グラントゴルフ〉

- 一位 二位
- 二位 三位
- 三位 一位
- 四位 五位
- 五位 四位・六位

〈ミニソフトバレーボール〉

- 一位 一位
 - 二位 一位
 - 三位 一位
 - 四位 一位
 - 五位 一位
 - 六位 一位
- 各区とも来年の健闘を期待しています。

一区ふれあい広場

遠山邦人

公園広場
◎参加 各常
会大人も子供
もできるだけ
大勢参加する。

私達一区で独自に計画したものは、八月の初旬に行われる「萩の里祭り」の練習を兼ねて、「一区民踊ふれあい広場」ということで区民の集いを行いました。

◎日時 七月二十五日(日)には、千二百有余名の人達が住んでいる一区としては、少しでも多くの人達を知ってもらおうと、親睦を兼ねてふれ

◎場所 中央
おとうと、親睦を兼ねてふれ

おらが地区

三区スポーツ祭り

三区主事 上沼祥佑

本年度は例年通り区と町の行事への参加と、三区部落独自の行事として、一月二十六日には常会対抗卓球大会を十二チームで行い、選手は各チーム男女合わせ八名で編成し、試合は上手下手を問わず老若男女共に楽しくプレーが出来た。昼食は各常会別になり和気あいあいと楽しく会食が出来た。又その折には法被の披露がありました。グレー地

に背中には黄色で三区のシンボルマークが染められ、袖口と帯の黄色も冴え、なかなか好評な法被となりました。戸数以上の枚数があるの今後各行事にはその法被が活躍すると思います。五月十日は三区のスポーツ祭で、早朝より大勢の人が練習に励み、開会式には百五十名余が集まり、午前中のグラウンドゴルフは常会対抗で十四チームが各チー



1区ふれあい広場

あい広場を行います。午前九時から午後一時三十分まで体育祭を、午後二時から四時までは芸能祭を計画し

ております。

体育祭では、

◎場所 南小グラウンド

◎開会式があり、全員自由参加、常会対抗、ブロック対抗、保育園以下のもので、民踊、閉会式等十種目くらいを考えています。

芸能祭では、琴の演奏や民踊、民謡、歌謡踊り、カラオケ等盛り沢山のものがあり、その種目には、個人で出たり、クラブや常会が挙って出たりします。

以上のような事を実行したり、これから行おうとしています。



3区のスポーツ祭り

ム男女合わせ八名で行い、プレーが進むにつれ好プレー珍プレーが続出し、グラウンド中央では子供さんも混ってゲートボールも行われた。午後はソフトボールと縄跳び、綱引きと気持ちのいい汗を流し、大会終了後の反省会には自慢話や失敗談で日の暮れるのも忘れる程でした。又親子の会話はいつも素晴らしい一日となった。秋には十一月三日三区の大運動会を予定して、今から準備して盛大に行います。三区力行会コミュニティセンターの建設が本決まりとなり設計図の作成へと進

み、三区会所が新しくコミュニティセンターとして生まれ変わる日も間近となり、伸び行く三区として益々発展して行くと思います。

芸能保存会 幹事長あいさつ

橋 都 靖 彦



日総会迄こぎつけることが出来、当日規約の成立をみて正式に発足の段取りとなりました。

大きな改正点をあげると一、名称「萩山郷土芸能保存会」とする。

此の度、萩山郷土芸能保存会の事業運営の実務を担当する事になりました。非

力な私共であります。区民の皆様方、また先輩各位の御指導御協力をよろしく御願ひ申し上げます。

昨年未だ、保存会の存否に関する重大な難問に直面しその問題解決の為幾多の会合、検討を重ねましたが、そのめどが立たず幹事役遂行不可能の事態となり幹事全員が総辞退する不測の局面を迎え、以後幹事を改選することになりました。

これらの問題を討議するうちに旧規約が実情合わず不備な点があり改案の運びとなり十二名の方々に審議員として規約案の起草をお願いし、その規約に基づき、役員を選出構成、担当部職

の委任をお願いし、六月八

の委任をお願いし、六月八

座談会 ― 編集委員会企画

下市田区の将来像について

八月十一日午後七時半より、下市田公民館二階大広間にて、下市田将来像座談会が行われました。出席者は区三役、公民館三役、各区より、区報編集委員がお願いした年代別の皆さん十一名、公民館教養部員、計二十七名で、区長、館長さんの挨拶があり教養部長の司会で始まりました。

◇生活道路、国道バイパスを考へ全町の構造改善

都市計画を早急に

まず簡単に自己紹介をした後、司会者より、出席者の中に以前区の三役を経験された方が見えますが、過去にこの様な夢を語る会、もしくは計画が有りましたか、との問いかけに、

◎四十八年に区役員の時に町から下市田構造改善の地区計画が示されたが地権者の協力が得られず、夢に終わってしまった。が四区新井地区で一部実行された。

◎昭和五十三年に三億という大金を投じて構造改善が行われ、不安もあったが、使ってみると一反以上の田

になつて、今考えてみれば土地が有効に利用されているので、下市田区でも将来の事を考えれば、地区計画や構造改善を早急に考へて行くべきである。

◎土地利用も山林は、山林として残し、工業地、商業地、住宅地、農地など利用目的別に区分して、総合的な構造改善を考へる必要がある。

◎今各区で行われている地区計画も、各区ばらばらなもので、下市田全体をまとめて、区総合ビジョンとして町へあげた方が良いのではない。

◎昭和四十八年頃とは農業事情、後継者の土地観念も変わってきているので、当時町から示された構造改善や各区の地区計画を元に、総合土地利用案をもう一度見直したらどうか。

◎住宅もコンクリートやブロック塀に囲まれた住宅ではなく、青垣や日曜菜園が二畝か三畝くらい付いた住宅がこれからは望ましいと思います。

◎住宅地区内の道路は大型車の進入を阻止、あまり広くしない。町内を通過する車は天竜川の堤防に国道のバイパスを造れば、国道の横断も容易となり、盆・暮れの渋滞も解消でき生活道路として活用できる。

◎住宅地区内の道路は大型車の進入を阻止、あまり広くしない。町内を通過する

◎町の大局的立場で構造改善を示してもらう、各区から持ち上げると言っても、なかなかむずかしい。

◎各区からだとし関係があつて無理なので、町なり専門家に依頼しビジョンを示してほしい。

◎下市田の土地利用をまとめてみると、区分別の構造改善をすれば、住宅、農業、商業、面でもいろいろな夢が可能になり下市田が益々発展するのではないかと思います。

◇これからの農業のあり方として

◎農地が点在し道路も狭い町の農業後継者の会でも、フルーツランド構

想等が持ち上がっている。子供が後を継いでくれるか

わからず、土地を切り売りしてしまふ事もあり、この様な事情からも、農地、道路の整理が是非とも必要である。

◇ほしい公共施設、老人の総合福祉施設、近代的公民館、下水道終末処理施設など

◎天竜社の跡地を有効利用して欲しい。厚生連診療所を総合病院に成るように努力してもらい、病院の周辺に老人の総合的な福祉施設が欲しい。これからは益々高齢化も進み、老人の集う場所や安心して療養生活のできる所が近くにほしい。

◎そうすれば人の行き来も自然と多くなり、出砂原商店

街の活性化にもつながり一層の発展が期待できる。

◎公民館も大分古くなってきているので、出砂原の区有地を売却した代金を大下市田区にふさわしい、近代的な公民館とか、多目的ホールの施設に活用したらどうだろうか。又下市田駅の付近に簡易郵便局を強く求める意見も出された。

◎文化の町と言われても恥じない終末処理施設や公共下水道整備を早急に着手してもらいたい。

◎二世世代家族では子供に近所付き合いや部落行事の古い言い伝えなど教える事ができない。老人と園児、児童と一緒に過ごせる施設があれば、子供達もお年寄りを大切にいろいろなことを教えて貰える。週五日制の実施も叫ばれて居るので、課外教育にも役立つのではないかと思います。

◇自然環境の保護と活用について

◎間ヶ沢の蛍について、今年も沢山の蛍が出た。天白峽の蛍と比べても決して劣らない。愛護会でも一生懸命やっているが会員だけでは保護が手薄になっ

てしまう、一般の方にも理解を頂き是非協力してもら

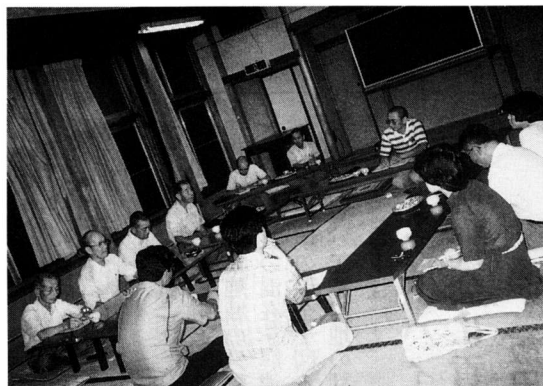
いたい。静かに区の宝として見守って行けば、子供達的情操教育にも役立つと思う。

◇公民館活動とコミュニティ事業のあり方

◎ソフト面で人作りの大切さが叫ばれていますが、いろいろな行事に積極的に参加する人がどの位いるか、どうしたら積極的に参加して貰えるか。

◎行事には呼びかけが大切で、多くの人に役を分担してもらい、多くの人から呼びかけてもらえればと思う。自分で役をやってみると無関心の人が立ちます。

◎独立世帯の方にも区民として大勢参加して頂きたい。◎帰省した子供達にも区の行事に積極的に参加してもらい、多くの方とコミュニケーションを図らせている。等々、有意義な意見が時間過ぎては沢山出されました。



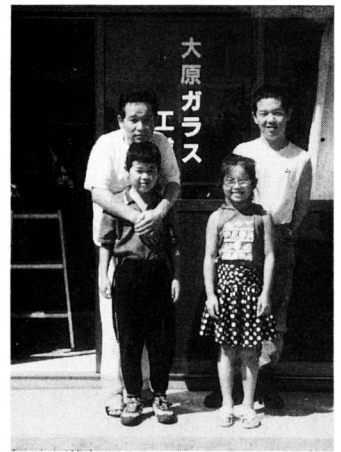
出席者 (11名)

杉田 洋一	三浦喜久夫
北沢 義美	手塚 諄
松島 修三	大久保政信
小平 和昭	北島 邦夫
久保田礼子	唐沢やす子
熊谷 澄子	

とても暮らしよいところ

二区 大原 キヨ子

昨年の十二月、豊丘より下市田にお世話様になり八ヶ月になります。商売がら以前よりお世話様になっており、なおいっそう人の暖かさを感じております。子供達の転校と



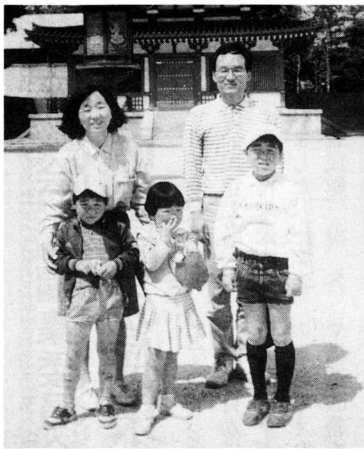
大原ガラス

ようこそ下市田へ

子供の成長が楽しみ

三区 宮下 金善

茶の間に、子供三人まと
あれは一昨年のもので、ここに住み始めたのは、確か二番目の子が生まれた年の十一月。末の娘も犬のク口もまだいませんでした。親の方は、毎日相変わらずの生活が続くばかり。子供の成長を見



か二番目の子が生まれた年の十一月。末の娘も犬のク口もまだいませんでした。親の方は、毎日相変わらずの生活が続くばかり。子供の成長を見

も皆様には可愛がって戴けます様家族共々ががんばりますので宜しくお願い致します。それから、ガラス店を営んでおりますので、機会がありましたら宜しくお願い致します。

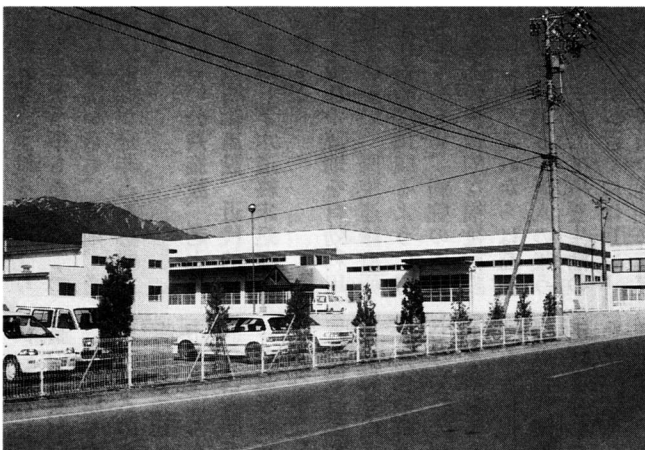
て、年の過ぎていくのを感じることが多くなりました。初めて見た時小学生だった近所の子も、もう高校生になっていきます。

―不動産には何回行ったかな。途中の河原で飯盒炊きをした時、下の子はベビーカーの中だった。山の寺キャンプ場では、雨の中でカレーを作って食べた。カブト虫をさがされて、天白公園でやっと見つけてほっとしたり。南小の花見、豊富な果物。これからも、子供と一緒に下市田での生活を楽しみたいと思っています。

下市田工業団地シリーズ

9

。シリーズによせて
昭和五十三年に町として
住居地域と工業地域の分離により住・工の混在を解消し、生活環境の保全を図る等の目的で、工業用地の計
画の研究が開始された。山吹下段に第一団地、六十一年に下市田下段に第二団地ができて各社、施設のできた所から操業している。第二団地は十六社が営業して

カーアドバイザーとして
地域社会に貢献する飯田車両整備共同組合
高森工場

当組合は、昭和四十七年の創立以来、上郷町におきまして、車両の点検、整備工場を営んで参りましたが、年々増加する作業量と近年著しい進歩、発達を見せています。車両のハイテクノロジー化に対応するべく、エンジン、カーアドバイザーをはじめとした

いる。六十一年に旭松、六十二年に綿半、六十三年に綿藤・外松・北星ハウス・ホヤプレジジョン・岡谷酸素、平成元年に小笠原鉄工・トマツ、二年にマツザワ・ショウラミ・甲州車体、三年に飯田車輛の各事業所を紹介してきました。

(編集委員)

新装置、機器の導入をはかった新規工場の開設を検討して参りました。

ようやく、この下市田工業団地に本工場完成を見ることが出来、本年四月より新潟陸運局の認証工場として、操業して参りました。私どもは、地域におけるカーアドバイザーとして、新しい知識、技術の習得に努め、ユーザーの皆様の信頼を高めて参りたいと思っております。

又、交通、自然環境等の社会問題に対して、我々整備業者の果すべき役割を深く認識しております。地域企業として、誠実な努力を重ねて参りたいと思っておりますので、今後とも皆様のあたたかい、御支援を宜しくお願い申し上げます。

委員会のひとこま (その二)

火、消しましたか？

上沼利実

消防委員会より現況報告をさせていただきます。

委員会の事業につきましては下市田区の皆様には大変お世話になっております。

私達委員と自衛消防では下市田区より火災発生が無い事を第一に願ひ、防火施設の

新設と既存施設の維持管理に努めております。火災発生状況については過去三年間住宅火災は一件も有りませんでしたが、今年七月に一件発生しております。

日頃皆さんが火の取扱いに充分注意をしていただいている結果が被害を最少限に留めております。防火施設については地区計画で要望

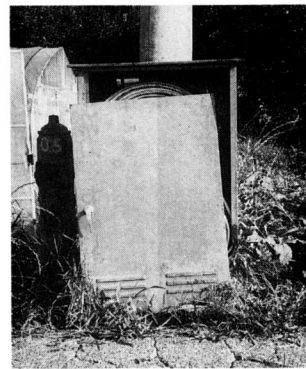
されましたものを町の調査によって新設されております。現在貯水槽二十二基、

消火栓約七十基の規模となりましたが消火栓器具収納箱の老朽化も進んでおりま

す。収納箱だけの取

替ができますので消防委員にいつでも御連絡下さい。毎年九月には各部落毎に防災訓練を実施しております。

毎日の生活に欠かせない大切な火も一歩間違えば大惨事となります。災害はいっ起るかわかりません。多数の方に参加していただきまして有事に備えての訓練をされます事をお願い致します。



ステーション廻り

竹村征夫

一般廃棄物の収集で、一番大切な事は、分別収集です。それには、厚生委員、常会長さん達の役員が、ステーションにいる、六時から七時までの時間帯に出さなければなりません。

その時間が守られず、役員の方がステーションから引き上げた後に、廃棄物を出す人が後をたちません。

この時間帯後にステーションを一廻りしていると、廃棄物を持ち込んでいる人がいましたので(袋もありませんでした)車から袋を出して、詰め替えて「次回からは、時間内に必ず持って来て下さい」と云って帰ってもらいました。

そして次のステーションに行ったら、又誰か、車で

来て廃棄物を出している様子です。前の事もあったので、強い口調で「時間を守ってもらわないと困りますよ」と云うと、「私は当番で、今片付けをして帰るところです」と云われてしまいました。

大失敗！「御苦勞様でした」と云い、次のステーションの見廻りに向いました。今後も廃棄物の持ち込みには、時間等ルールを守って下さい。

『萩の里祭り』を振り返って

教養部

去る、八月一日(下市田のふれ合い広場「萩の里祭り」が盛大に行なわれまし

た。当日は終了間際に短時間であったが雷雨に見舞わ

れたがまずまずの天候となり、子供からお年寄りまで

大勢の参加者で、まさに地域の人の良きふれ合いの場となりました。

そんな中、参加者全員で納涼盆踊りが始まり「萩の里祭り」の幕が開かれた。

第二部の高森音頭各区発表会では、それぞれの区が、工夫を凝らし持ち時間の中、精一杯に高森音頭を披露し好評でした。

又子供花火大会も参加した子供全員に一人一束の花火を配り、夏の夜を煙火で包む和やかな一時であった。

カラオケ大会においても、デュエット有り、仮装有りと各部落とも工夫をこらし、出演に花を添え、にぎやかな大会が出来た。

お楽しみコーナーも今年からは、各区の青年会が中心となり、一部落二品種の出し物が有り、各コーナーとも準備した品物を完売す

る程の盛況ぶりでした。締めくくりは、民謡クラブを中心に参加者全員で盆踊りの輪に加わり、大盛況のうちに夏祭りの幕を閉じることが出来た。

後日反省会を開き、それぞれの立場からの反省点をうかがいました。

期日については、小中学生が夏休みに入った最初の土曜日で良い。

会場！今年は仮設電気を引込み配線をした(60A)が、部分的には足りない所があったので、四回路の接続等で配電を考えた。舞台はしっかり出来ていた。土足で登ばれて良かった。

組立てに時間がかかってしまった。等の反省が出来た。

民謡ー高森音頭ばかりで無く各区としての踊りを考えると良い。(研究課題)

子供達が参加出来るフォークダンス等も考えると良い。育成会ー花火の数が注文した数だけ無かった。

接待係ーお客様が大勢いて接待に忙しかった。

お楽しみコーナー、参加グループが青年会中心となり、一区二品種としたが、一部重なった所が有り迷惑を掛けた。お楽しみコーナーへ最終時間を予告しておいた方が良かった。

以上の様な反省点が各担当者より有りました。次年度に向けて検討課題としてもらいたい。



自然探訪

下市田の ゲンジボタル

平澤 忍 夫

下市田のどの河川でも昔は見られたと言うゲンジボタルがほとんど見られなくなっているのは何年の月日が過ぎたのか。

現在発生している間ヶ沢堤下、牧の内堤下、日影の三ヶ所は自然発生したものではない。町の養殖池で育てられた幼虫とカワニナが放流され成長したものである。

間ヶ沢の在来からのゲンジボタルは農業構造改善事業による河川の改修、間ヶ沢堤の漏水工事の改修工事により絶滅したものと思われる。その際幼虫とカワニナが下段の相の沢用水路に移動放流され二、三年発生していましたがU字溝が敷設されたことにより絶滅し、在来の高森町のゲンジボタルは永久に見ることができない。

しかし構造改善の折、その工法の一部変更を町当局にお願いし、地元の方々、地権者の方々の厚意とご理解をいただき、ホタルが棲

息できるように改善していただき、今日大量の発生が見られるようになりホタルの郡下での先進地としての基礎がつけられ、町の養殖池で養殖された幼虫とカワニナが放流され今日、光の乱舞が見られることは感に耐えない。

この光の乱舞がこの二、三年見られるようになった陰には年間を通してカワニナに給餌をされホタルの保護に情熱を注いでおられる方の居ることを忘れないでいただきたい。

人間が手を加えなければゲンジボタルが発生しない環境とはどう言う環境なのかを考え、氷河時代から生き残り、我々に夏の夜空に乱舞し安らぎを与えてくれるホタル。世界の二、〇〇〇種（日本四三種）の中で水陸両棲の珍種中の珍種と言われるゲンジボタルを今後どう保護し子孫に残すか、下市田区民としての課題であると一言することを提言し、下市田のみなさんのご理解ご協力をお願いして筆をおきます。



ホタル乱舞風景

漸進会（四区）

林 守 夫

漸進会が再発足したのは昨年の四月からです。再発足と云うのは、昭和二十年代まで活動していました、その後途絶えていたのが前々回の町民運動会の折に話題になり発起人が発足し、度重なる話し合を経て前記の様に発足しました。そもそも

グループ紹介

も漸進会なる名称は何時頃出来たのか、何故漸進会なのか、部落内の諸先輩又は長老の方々に聞きしても定かではあり

私達双葉会は、下市田五区に在住する壮年者、青年者を対象に構成された会員七〇余名のグループです。

五区には以前、先輩達が築いたグループ「双葉会」があったのですが、いつしか途絶えてしまい、久しく活動がなかったようです。

新しく本年三月に組織化し出発したところです。名称も由緒ある双葉会を継承することになりました。

ませんが、話を総合しますと大正の末期か、それ以前かと思われまふ。また漸進会とは「急激な手段を避け順を追って徐々に進む」という事だそう。我々の先人達がしかも七〇年余り前に現在を見据え、しかも我々にこれほど戒めを与える名称は無いと思ひ誇りに思っています。

そんな意味でも再発足したばかりの集りですが、会員一同派手で無く無理をしない程度に、又名に恥じない様部落を中心に頑張っていきたいと思ひます。主な行事は又紹介しますが、元

同じ地区内に住んでいて挨拶も交せない他人であつてはならないという事で、先輩、若者同志がつながりを深め、会員相互の親睦と団結をはかり、地区の中心世代として対応していくこと。又地区の活動や行事等に積極的に参加

双葉会（五区）

佐々木 啓 登

当面の活動計画は、会員相互のコミュニケーションの場づくり、萩の里まつりの参加、カラオケ大会の応援と参加、運動会の応援、会員内のレクリエーション大会等計画しています。

常に多くの会員が参加して、活動することが願いです。



随想



わが家の植物園

河田 富 亘(一区)

七月に葉摘みした丸坊主のモミジが真赤く芽吹いて春の再来です。これで秋の紅葉も一段と冴えてきます。クロマツの盆栽も七月に新芽を元から切除したら、切り口に新緑の芽が数個ずつ出てきました。七月の芽つみは徒長を抑え樹形を保つ上で大切な手入れで、毎年行っています。

クチナシの挿木が、トロ箱にたくさん元気に育っています。食品添加の染料として実が珍重され、ご婦人からの依頼が数々あります。シャコバサボテンの挿木鉢が並んでいます。今冬はどの鉢も花をぶらさげてくれることでしょう。

身体障害の身にとって片手で出来る事としては、これら植物の育成あたりが相当、と心得、楽しみつっ手入れを続けています。家内もよく協力してくるので鉢の扱いにも困らず、

吊水庵

田戸 純 市(三区)

家の庭で、何時も心安らぐ気に入った所がある。それは池の畔の小さな滝の前である。滝の水は家の裏に湧く清水で、余程激しい雨で無い限り、濁まず清冽である。高さは三メートル位で、途中で滝壺があり、二段になって池へ落ちていく。大きな苔むした岩と岩の頭から吊したように、滝壺へ落ちる水。快よいその音、こよなく愛する滝。岩肌には、岩松葉、豆蔲が自生して一層滝の景観を良くしている。

棚も買ってきてくれるので自分で作らずともよく、集約的に手入れが出来て大助かりです。月下美人、フアレノプシの日の赤い円実は殊の外美しく大好きである。滝壺の山葵は裏から水に運ばれて来て生えたらしいが、葉の濡れた緑が美しく、早春に群がり咲く白い花は、優しく清純でこれも大好きだ。一年中青い豊後笹も興を

添えて、滝を良くしてくれ。この滝を見、滝音を聞き、慰められて毎日、これからの平凡に生きて行きたい。



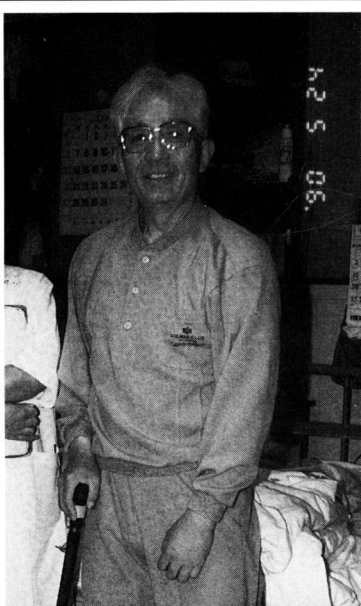
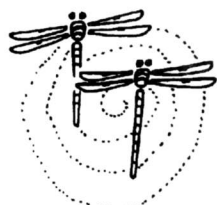
出砂原の発展を願う日々

湯沢 和子(六区)

立派な「お祭り広場」が出来ました。

八月二日には、初めての大イベントとして出砂原の夏の風物詩ともなった夜店市が開かれました。商工会青年部と、地元

翌朝、朝の弱いお父さん達が広場の清掃に頑張っている姿に、手をあげてサインを送り、ラジオ体操場に急ぐ孫達。やがてはこの子等に受け継がれていくこの土地、様変わりをするでしょうが、平穩に、そして発展してくれることを念ずる日々でございます。



わが館吊水庵と名を呼ばむ。滝打つ音を夜々の枕に。これが、吾が家を「吊水庵」と名付けた所以である。外出して家に帰った時に、この滝の音を聞くと心安まる思いがする。滝の横は大きな石を乱積した石段があ

会場には特設ステージが設けられ模擬店が並び、賑やかな市となりました。模擬店の威勢の良い売り手の面々も小学生の頃は忘れ物を取りに農事試

小中学生の作文

舟下り

小三 宮下 秀樹 (二区)



ぼくは、夏休みに、いばらぎのおばさんたちと、べん天こうから、天りゅうきょうまで、舟下りをする事になりました。

ぼくは、一番さいごにのったのに、動きだしたら、

舟の先頭だったので、びっくりしました。

べん天こうから、水神橋というところにつきました。

それから、どんどん行く

と、ぼくたちの、のついで、ところをしゃしんにとって、くれまし

た。

水しぶきが、とびかかって

きもちよかったです。緑の

橋を通りか

かったとき、

白サギが、草

むらにいます

が、みえまし

をふっているのが、わかりました。

ぼくは、三十分ぐらいのついでに思ったけど、

家族旅行

小五 林 勘二 (四区)



岐阜県の旅館にやっと着いた。

「あーあつかれた。」着くとさっそくおふろに入った。六階だから外は、いい眺めだった。部屋を出て夕食を食べに行った。部屋にもどるとまたおふろに行った。おふろから出て、テレビを見てねた。外は、カミナリがすごくてねむれなかった。

次の朝、御飯を食べて旅館から出た。さっそく犬山城に行った。犬山城に登ると高くてすごかった。帰りにアイスを買って行った。

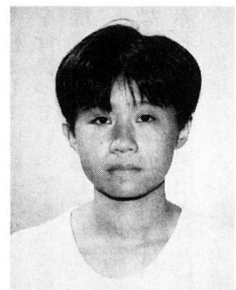
次は、日本モンキーパークに行った。お金をはらってさっそくジェットコー

をふっているのが、わかりました。

ぼくは、三十分ぐらいのついでに思ったけど、

町のためにできること

中二 小川 由香理 (五区)



う気持ちを失くしてしまっているのです。みなさんはどうですか？自主的にゴミを拾おうという気分になりますか？このことも町の美化になる小さな小さな協力だと私は思っています。

編集後記

原稿の字数と写真を見ながら考えている。電話で寄稿者と連絡している。続きページ分担者と相談している。これは、二十三号の編集の情景でした。

萩の里祭のスケッチ・町議との懇談会・下市田の将来像座談会を中心にまとめてみました。随想・作文に貴重な体験や意見。委員会・グループ・部落などの寄稿ありがとうございます。

